

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 関数	・分数関数、無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。また、合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。 ・数列や無限級数の収束、発散を調べ、極限を調べることができる。 ・数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用する。	【知識・技能】 日常の授業での応答				14
	第2章 極限		【思考・判断・表現】 日常の授業での応答	○	○	○	
	第1節 数列の極限		【主体的に学習に取り組む態度】 日常の授業での応答				
	第2節 関数の極限						
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 考査得点	○	○		1
	第3章 微分法	・関数の種及び前の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 ・合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。 ・三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求める。 ・導関数を用いていろいろな曲線の接線の方程式を求められる。 ・いろいろな関数の値の増減、極大極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかき、それらを事象の考察に活用する。	【知識・技能】 日常の授業での応答				16
第4章 微分法の応用	【思考・判断・表現】 日常の授業での応答		○	○	○		
第1節 導関数の応用	【主体的に学習に取り組む態度】 日常の授業での応答						
第2節 速度と近似式							
定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 □考査得点	○	○		1	
2 学 期	第5章 積分法とその応用	・積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる。 ・面積・体積・道のりを、定積分を用いて求めることができる。	【知識・技能】 日常の授業での応答				14
	第1節 不定積分		【思考・判断・表現】 日常の授業での応答	○	○	○	
	第2節 定積分		【主体的に学習に取り組む態度】 日常の授業での応答				
	第6章 積分法の応用						
	定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 □考査得点	○	○		1
	入試問題演習	入試問題演習	【知識・技能】 日常の授業での応答 【思考・判断・表現】 日常の授業での応答 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の授業での応答	○	○	○	16
定期考査		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 □考査得点	○	○		1	
3 学 期	入試問題演習	入試問題演習	【知識・技能】 日常の授業での応答 【思考・判断・表現】 日常の授業での応答 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の授業での応答	○	○	○	4
							合計 68